

令和2年度 いわきクロスカントリー大会参加にあたって

いわき陸上競技協会

I. 競技者

- ①競技会1週間前から検温し、いわき陸上競技協会HP (<http://gold.jaic.org/iwaki/>) 内に掲載されている体調管理チェック表に記入し、大会当日の朝8:20までに本部(スタート地点)に提出する。提出していない競技者は、出場不可となる場合がある。
- ②運動時以外(招集中・移動中・待機中を含む)のマスク着用、競技終了後の手洗い・洗顔を徹底する。
- ③3密行動を避けるように心がける。
- ④ウォーミングアップは、個別に行う。
- ⑤運動中につばや痰を吐くことをしない。
- ⑥ごみは全て持ち帰ること。
- ⑦競技会終了後、2週間は健康チェックをし、発熱などの症状があった場合には、最寄りの保健所、かかりつけ医、帰国者・接触者センター等に報告・相談後、必ず大会主催者に報告すること。
- ⑧ナンバーカードは、各自用意し、胸部・背部につけること。



II. チーム関係者

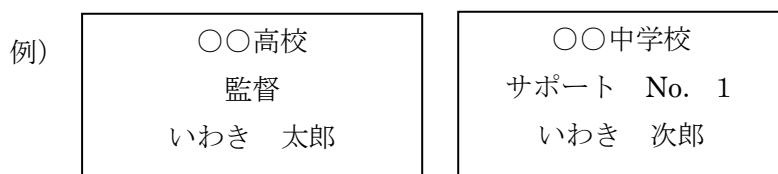
※以下の事項に該当する場合は、自主的に感染を見合わせることを。

- ・体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。

※体調管理シートについては、競技者と同様に提出すること。

- ①マスクの着用、手洗い、洗顔を徹底する。
- ②3密行動を避けるように心がける。
- ③声を出しての応援、集団での応援は行わない。
- ④スタート地点の各チーム付き添いは3名(監督1名・コーチ1名を除く)、個人参加は1名までとする。

なお、チームの監督・コーチ・付き添いと分かるように各チームIDや許可証を作成してください。また、発行一覧(名簿:書式自由)を本部に提出してください。



- ⑤競技者に付き添う場合の競技者との接触、ソーシャルディスタンスを確保し、会話に注意する。
- ⑥混雑を回避するため、競技者に付き添う者のウォームアップエリアへの立ち入りをしないこと。
- ⑦競技会終了後、2週間は健康チェックをし、発熱などの症状があった場合には、最寄りの保健所、かかりつけ医、帰国者・接触者センター等に報告・相談後、必ず大会主催者に報告すること。

Ⅲ. 観戦者

◎他のイベントも同日開催されていて本大会の観戦者を把握することが難しいこと、観戦場所が広範囲になること、以上のことから観客の感染予防対策を万全にすることが難しいため、観戦は自粛をお願いします

Ⅳ. 報道関係者

- ①取材時はマスクを着用する。
- ②開催1週間前の体調管理・検温の義務と体調チェック表の提出および終了後2週間の体調管理・検温を行う。
- ③会場内では手洗いや咳エチケットなどの実施を心がける。
- ④取材人数・取材方法・取材エリアを順守する。
- ⑤競技会終了後、2週間は健康チェックをし、発熱などの症状があった場合には、最寄りの保健所、かかりつけ医、帰国者・接触者センター等に報告・相談後、必ず大会主催者に報告すること。

上記の内容について、ご協力いただけない場合には、大会主催者は参加および競技会場内入場を断ることができる。